



「司書」(P71)あるいは「図書室」では、アルチンボルドは学者を描いている。その人物像を本で構成しているのだ。髪の毛は広げた本で、頭と頬、鼻、口、首はすべて大きな本や小さな本、閉じた本や広げた本からなっている。目は眼鏡でできている。トルソは積み上げた本の山。腕は赤とベージュの表紙の大型の本。本の装丁は16世紀のイタリアのデザインや装飾を思わせる。背景の右側には古い赤いドアがあり、それとは対照的な劇場のような手の込んだカーテンの一部が学者の左肩にかかって、儀式用の衣服のように左半身をおおっている。指は本のしおりである。この作品は著述家、おそらくは宮廷に仕えていた歴史学者で医師、地図製作者でもあったヴォルフガング・ラツィウス(1514-1565年)を描いたものであろう。

「冬」

1572年

カンバスに油彩、76.8 x 56.7 cm

ベルリン 個人蔵